

平成 25 年度第 4 回青森市子ども会議開催概要 〈街グループ「マーチハンターズ」①〉

- 1 日時 平成 25 年 8 月 12 日（月） 9 時～17 時
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 出席者 マーチハンターズメンバー7 名（欠席者 4 名）
マーチハンターズサポーター1 名（欠席者 1 名）
事務局 1 名

4 開催概要

「街」に関係するテーマで活動していくグループ「マーチハンターズ」は、4 つあるグループの中で参加人数が 1 番多い 11 人で構成されています。

まずは、前回の第 3 回会議までに活動意見として出されていた、

- ・道路整備について（冬の雪道など、交通安全面から、どうしたら安全に歩道を歩けるのかを考えたい。）
- ・バリアフリー（身近な所から誰もが使いやすい、楽で安全だと思えるような工夫を考える。）
- ・シャッター商店街について（せっかく場所があるのに、なぜ店を始めないのか。特に新町は駅が近く人が集まるのではと思った。）
- ・駅の自転車駐輪について（違法な駐輪をよく見かける。いい街だと思ってもらいたい。）
- ・ショッピングモールについて（地域を活性化させるため、街を盛り上げるためにどうすればいいのかを調べたい。）
- ・新青森駅中心にいろいろな建物が建つこと（観光客が満足し、青森がますます良くなってほしいから。）
- ・市民体育館、市民プールの設備を良くする（青森の子どもは肥満傾向。冬場に思い切り体を動かせる場所として。）
- ・図書館を増やしたい

などの中から、今回の子ども会議で、実際にどのような活動をしていくかを話し合いました。

その結果、「マーチハンターズ」では、

まち活性化のための新町シャッター商店街について 市民体育館や市民プールの体育施設について

の 2 つについて活動を進めていくことにしました。

活動を進めていくにあたり、ハンターズのメンバーは、まずは現状を把握するために、現場に出向くこととしました。

新町シャッター街については、現場に行ってから商店を営む方々に積極的に話しかけてみることにし、市民体育館と市民プールについては、活動趣旨と見学したい旨を事務局から事前に電話連絡して、のちほど訪問することにしました。



向かった先は、「ニコニコ通り」です。
昔ながらのお店が並ぶ商店街ですが、ぽつぽつと空き店舗があります。
ハンターズのメンバーは、商店を営んでいる方に自ら話しかけていき、昔と今のニコニコ通り周辺に関するお話を聞いていました。
その後、「いろは通り」にも入って行って、市場の中で商店を営んでいる方などからもお話を聞くことができました。



お聞きしたお話の中で、よく聞かれたのが「活気がない」ということでした。
新町に限らず、同じような問題に直面している商店街がたくさんあることが想定されますが、ハンターズのメンバーは、この現状を受けて、どのような“提案”を考えるのか、子ども視点からの発想に期待します。



続いて、ハンターズのメンバーは市民体育館と市民プールにおじゃましました。
中体連でよく来る体育館ですが、中に入ってみると、老朽化が進んでいることに気づかされました。
また、体育館・プールとも冷房設備がなく、窓を開けないととにかく暑いという現状がわかりました。
このほか、施設の担当者から施設設備などについてのお話を聞いて、今回の現場訪問は終わりました。



次回、街グループ「マーチハンターズ」は、現場訪問で知ることができた商店街と体育施設の現状を整理しながら、自分たちの提案内容をまとめる活動を行う予定です。

「ニコニコ通り商店街」、「いろは通り商店街」、市民体育館と市民プールで対応していただいた担当者の皆さん、子ども会議の活動にご協力いただき本当にありがとうございました。